

我が国業界 No.1 企業への 加賀電子グループのEMS

加賀電子グループは、世の中に役立つ企業こそが持続的成長を実現するとの信念のもと、中長期ビジョン、中期経営計画で掲げた「我が国業界 No.1」の企業グループ形成、そして売上高兆円規模のグローバルな競争と伍して戦える「グローバル競争に勝ち残る企業」の実現に果敢に挑戦しています。

成長を牽引 ビジネス

加賀電子グループの成長ドライバー

加賀電子グループは、移り変わりの激しいエレクトロニクス業界において、時代の変化をいち早く察知する能力を発揮し、成長を持続してきました。「すべてはお客様のために」を頑なに実践してきたことが、単品取引から複数の部品をまとめて納品する「キットリング」の展開につながり、要望にさらにお応えするなかで、電子部品のプリント基板への実装を製造受託する「付加価値型EMSビジネス」に進化さ

せてきました。
このEMSビジネスでは、製品の設計・開発から、電子部品をプリント基板に実装するSMT、そして完成品組立に至るまで、多品種少量生産にも柔軟に対応しています。このようにして大規模な設備で大量に供給するメガEMSとは対極となるサプライチェーンを構築しています。

商社ビジネスで
培った
変化対応力を発揮

「在庫は罪の子」
を徹底

業種が偏ることなく
多岐に分散された
顧客基盤を構築



加賀電子グループ EMS事業の成長見込み

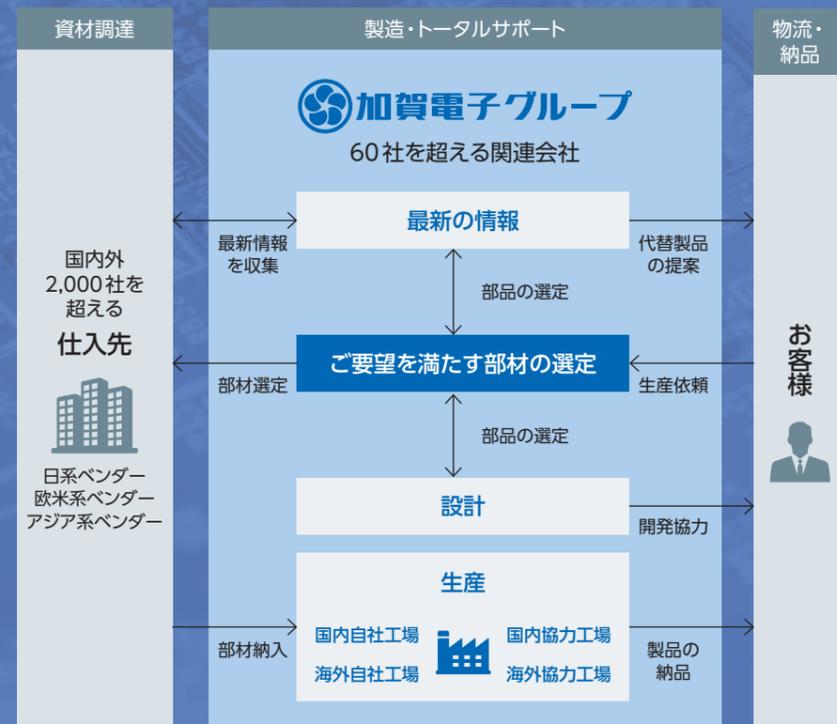
EMSビジネスの成長シナリオ

1,400 億円



2019/3 実績 2022/3 目標イメージ

50年以上にわたり培った強みを結集したEMS事業

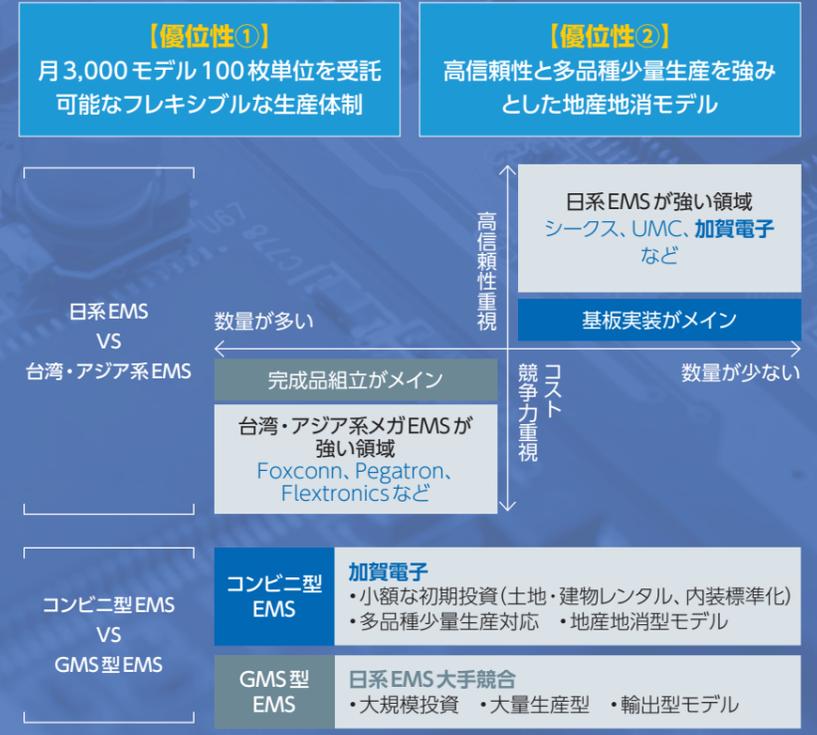


【強み①】
独立系総合商社ならではの柔軟さ、豊富な経験に基づく、組み合わせ力、加工力で、お客様のご要望に最適な商品を調達

【強み②】
日本を起点に、中国、アジア、欧州、米州の10ヵ国21の生産拠点で多品種少量生産やさまざまなアプリケーションに対応

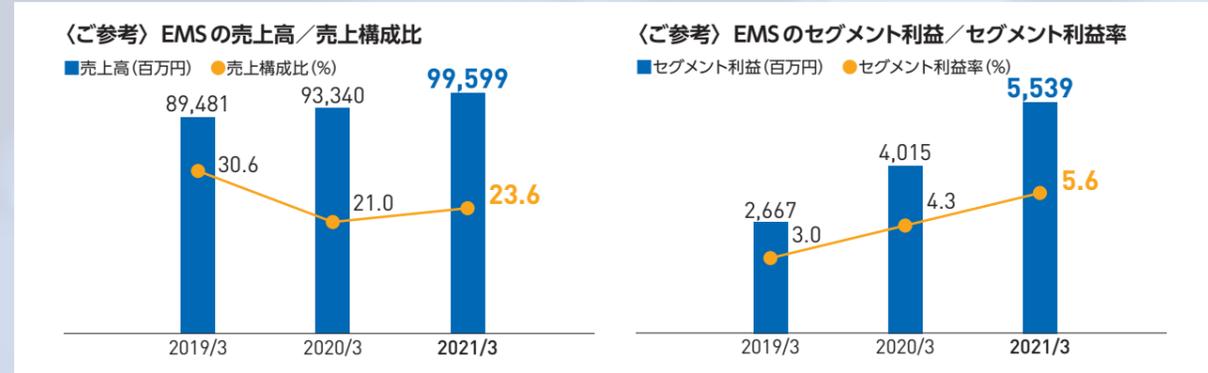
【強み③】
製品の設計・開発からシステム構築、基板実装や半完成品、完成品の生産までワンストップに提供

加賀電子グループEMS事業の独自性と競争優位性



収益成長ドライバー、EMSビジネス

近年、積極的なM&Aを通じてグループ会社化した加賀FEI、加賀EMS十和田、エクセル、旭東電気の商材や顧客基盤を活用して商社ビジネスの売上高と利益を量的に拡大するとともに、当社が得意とする付加価値型のEMSビジネスに展開し、収益性の底上げを図っていきます。



EMSビジネス成長のための重要テーマ

- 生産能力の増強
- ものづくり力の強化
- エンジニアリング力の強化

直近のM&Aの狙いと期待されるシナジー

	機会	リスク
強み ・独立系エレクトロニクス総合商社 ・グローバルネットワーク力 ・ワンストップサービス力	・通信 (IoT)、車載市場など半導体関連市場の需要拡大 ・国内半導体商社の再編加速	・中国労務費の上昇、米中貿易摩擦を背景とした日本企業の国内回帰 ・市場の急激な拡大に伴う供給力の不足
EMS課題	・グローバルに勝ち残る事業規模の獲得 ・成長加速による生産系人材、グローバル人材の不足	
	2019年1月 加賀FEI(旧・富士通エレクトロニクス)をグループ会社化	
	2019年10月 福島新工場稼働 2019年10月 タイ第2工場稼働	
	2019年10月 加賀EMS十和田(旧・十和田パイオニア)をグループ会社化	
・独自技術、独自商品の不足	2019年12月 中国企業と合併で生産設備を独自開発	2020年11月 旭東電気をグループ会社化
	2020年4月 エクセルをグループ会社化	

EMSビジネスの競争力を飛躍的に強化

買収した会社のPMI

加賀FEI株式会社

2019年1月、富士通グループの半導体商社であった富士通エレクトロニクスを当社グループに加え、「加賀FEI」(KFEI)としました。取り扱い商材や国内外の販売チャンネルを相互に活用することにより、電子部品・半導体ビジネスにおけるシェア拡大を

目指します。さらに、車載、通信に強いKFEIの広範な顧客基盤に加賀電子グループのグローバルなEMS拠点の活用をご提案することにより、EMSビジネスの非連続な成長を図ります。

▼ EMSの取り組み

車載機器メーカー、電機メーカーなど8社から11件の開発・試作・量産を受注 (124社/新規訪問 → 74社/商談継続中)

- 注目ポイント
- ・「EMS / E2MSビジネス部」を設置、獲得件数は前年を上回る
 - ・量産案件は、加賀電子グループのEMS工場と連携

▼ クロスセルの取り組み

加賀電子が持つ有力商材を大手優良顧客へ売り込み拡大中

- 注目ポイント
- ・車載ソリューション、ネットワークソリューション、システム機器、インフラ機器、家電などさまざまな分野で大型商談を展開中

▼ 新規商材の取り組み

半導体、電子部品、ユニットモジュールなど幅広い分野で商材・サービスを拡大

- 注目ポイント
- ・新規取り扱い商材90社(累計)、2022年3月期売上見込み約200億円(2021年3月期126億円)

▼ 営業拠点の統廃合(国内)

2022年3月期

- ・名古屋オフィスを加賀電子名古屋営業所に移転(2019年9月)
- ・広島営業所を閉所、加賀電子関西営業所へ統合(2019年12月)
- ・長岡営業所を閉所、加賀電子新潟営業所へ統合(2020年2月)
- ・大阪オフィスを加賀電子関西営業所へ移転(2020年12月)

▼ 営業拠点の統廃合(海外)

- ・加賀電子米国版社をKFEI米国版社に統合(2021年1月)
- ・加賀電子韓国版社をKFEI韓国版社に統合(2021年9月)

加賀EMS十和田株式会社

2019年10月、パイオニアの製造子会社(十和田パイオニア)を当社グループに加え、「加賀EMS十和田」としました。加賀EMS十和田が持つ優秀な生産系人材と豊富な生産実績、生産設備設計・治具製作、品質保証体系など有形無形のリソースを共有することで、加賀電子グループが注力する「車載機器」「医

療機器」の成長領域においてEMS競合他社に対して圧倒的な競争優位性を確立していきます。

加賀EMS十和田を基板実装のマザー工場と位置づけ、海外拠点との連携を深め、全体最適化を推進していきます。

▼ 新規顧客の獲得～加賀電子との協業

- 注目ポイント
- 車載： 日系Tier1向け電装基板の量産開始(2020年7月～)
日系Tier1向け電装基板の量産受注(2021年11月～)
 - OA機器： 日系大手事務機メーカー向け電装基板の量産受注(2021年以降)
 - 電機： 日系大手電機メーカーから「認定工場」資格を取得

▼ 新規顧客の獲得～独自開拓

- 注目ポイント
- 医療機器： 日系医療機器メーカー向けセンサの製造受託(2020年12月～)
日系医療機器メーカー向けユニットの製造受託(2022年5月～)

▼ EMSマザー工場としての取り組み

- 注目ポイント
- ・自社開発の生産IT化ツール(管理ソフト、設備をグループ内生産拠点へ展開)
 - ・生産に関する標準化ノウハウの共有
 - ・海外生産拠点への支援、海外赴任人材の展開
 - ・品質管理、生産技術人材の育成加速
 - ・ものづくり視点でのIT化推進(品質管理、資材、工場総務、経理)

エクセル株式会社

2020年1月、液晶等表示デバイスに強い電子部品商社エクセルを当社グループに加えました。同社の買収は、「電子部品ビ

ジネスのシェア拡大」「EMSビジネスの規模拡大」「新規事業の獲得」を目的としています。

▼ 新規事業の取り組み

- カルテック社製光触媒除菌脱臭機の拡販
- 中国アルファバス社製EVバスの拡販

注目ポイント EVバス： 2021年3月期2台導入、2022年3月期2台の受注確定

▼ クロスセルの取り組み

「グループシナジー推進室」を設置し、連携を強化。「特販営業部」を設置し、電子部品以外の商材の取り扱いを拡充

▼ 営業拠点の統廃合（国内）

- 本社を加賀電子本社に移転(2021年3月)
- 名古屋支店を加賀電子名古屋営業所に移転(2021年4月)
- その他の国内営業拠点についても見直し検討中

▼ 営業拠点の統廃合（海外）

- シンガポール現地法人の事業を清算、加賀シンガポールに事業移管(2020年12月)
- その他の海外拠点についても見直し検討中

旭東電気株式会社

車載向けEMSで取引があり、民事再生法支援のスポンサー契約を結んでいた旭東電気を2020年11月、当社グループに加えまし

た。ブレーカーや漏電遮断器の製造、一部EMSも行う電気メーカーで、漏電保護プラグ、漏電保護リレー、小型漏電遮断器、直流開閉器等で国内シェア75～100%を持つトップメーカーです。業績不振の要因であった中国事業などを切り離し、連結子会社化しました。

▼ 買収の狙い

- 当社の車載向けEMS顧客に対する製品供給の継続
- 製造業の国内生産回帰に対応した、西日本地区におけるEMS拠点の構築
- 同社のオンリーワン製品の競争力強化によるグループ収益への貢献

注目ポイント 加賀EMS十和田を東日本、同社の鳥取工場を西日本のそれぞれEMS拠点と位置づけることで、国内生産回帰を志向するお客様に幅広く対応できる体制が整いました。

〈ご参考〉EMSグローバル生産体制の競合他社比較

加賀電子グループのEMS拠点は、海外では香港・中華圏に4カ所、アセアンに6カ所、欧州にはチェコとトルコの2カ所、米州はメキシコにあります。直近では、インドにも進出しました。

国内には山形、新潟、埼玉、福島、青森、鳥取に3カ所があり、内外合わせて21カ所の自社工場を擁し、ワールドワイドなEMSメーカーとしてさらに飛躍しようとしています。

	加賀電子 10カ国21拠点	A社 8カ国12拠点	B社 4カ国8拠点	C社 3カ国4拠点
日本	● × 8	●	● × 4	
中国	●			
	深川	●		
	東莞		● × 2	●
	湖北	●		
	蘇州	● × 2		
	上海	●		
アセアン・アジア	タイ	● × 2	●	
	インドネシア	●	● × 2	
	マレーシア	●		
	ベトナム	●		● × 2
	インド	●		
	フィリピン		●	
	韓国			●
米州	メキシコ	●		
欧州	チェコ	●		
	トルコ	●		
	スロバキア	●		
	ハンガリー	●		

※ 当社調べ

加賀電子グループのワンストップ・ソリューション

加賀電子グループは1968年の創業以来、エレクトロニクスの独立系総合商社として、時代とともに変わるお客様のご要望に寄り添いながら、つねに最良の課題解決を提供してきました。現在は、電子部品・半導体、EMS、情報機器、ニュービジネスの4分野を事業ドメインに、北米、欧州、アジアに展開する仕入先や生産工場を活用して、お客様ご希望の地域で「欲しい」を形にし、お届けする体制を整えています。ご要望に少しでも早く、柔軟にお応えするため、企画のご相談から設計開発、多品種少量そして半完成品から完成品までの生産受託、販売からアフターサービスまで、グループ会社がそれぞれの専門性を活かしつつ、相互に連携し合ってワンストップのサポート体制を構築し、お客様のビジネス展開を支えています。

製造受託にとどまらず、販売・販売後サポートまでワンストップで対応できるグループ総合力

企画・開発・設計



部品調達・キitting



EMS・製造受託



販売・ディスプレイ トリビューション



サポート・アフターサービス



加賀電子		加賀テクノサービス
加賀デバイス	加賀マイクロソリューション	
加賀ソルネット		サンコーエンジニアリング
加賀アミューズメント	イー・ディーデバイス	加賀アミューズメント
デジタル・メディア・ラボ	加賀テック	加賀スポーツ
	エクセル	
加賀EMS十和田 / 旭東電気		
加賀FEI		
KAGA USA		
加賀電子(大連) KAGA (台湾)	TAXAN MEXICO KAGA COMPONENTS (MALAYSIA)	
加賀電子(上海) / KAGA (H.K.)		
KAGA (THAILAND) / KAGA (VIETNAM)		
KAGA (SINGAPORE)	KAGA (INDIA)	
KD TEC(チェコ) / KD TEC Turkey(トルコ)		